



今月の話題: 計画中の新国立競技場の開閉式屋根が先送りされるというニュースを聞いてすぐにシドニーのオペラハウスの建設の顛末を思い浮かべた。学生時代、このコンペで決定した案を見た時、本当に感激し、こんな造形が可能なのだと夢が膨らんだものだ。その後、設計の修正、10年延長の工期、14倍の工費をかけ完成した。今度の競技場にそれだけの熱意が集中されるだろうか。雨天でも競技するラグビーのワールドカップに間に合わせるとか、資金調達のため、競技に関係のない野球くじをやるうとか、とにかく、納得できない事が多い。(伊藤誠三)

□ 本部便り：(金森捷三郎記)

・第3回拡大理事会が終わりました。(5月20日)今年度の収支予測は、わずかながら黒字の見通し。泉理事の、BIMソフト翻訳改善作業が今年の特徴。

○次回拡大理事会:9月中旬開催予定(調整中)

□ 建築部会：(安部重孝記)

・伊藤忠都市開発 教育・研修(担当:岡本)本年も6回開催依頼がありました,平成27年第1回開催5月29日(金)「地下工事を安全に進める」講師:柳川 裕
・サーツ寺子屋第2回6月26日(金)参加者が多数予測され,会場を東大松村研究室に変更させていただきました。テーマ「マンション衛生設備の維持管理と改修」講師:仲村元秀 (株)ジェス設計 マンション管理組合の方からも申し込みがきています。
・「安心して長く住めるマンションの選び方」冊子作成WGにてまとめ中(建築部会・集合住宅部会,担当:岡本他)。元リクルート取締役,現「風」主宰・大久保恭子氏に松村研究室でお会いし,一般市民対応について助言をいただく予定。

○次回建築部会 WG:6月1日(月)15:00~16:30,

建築部会:6月18日(木)17:30~19:00

(曜日がいつもと違うので要注意)

□ 戸建住宅部会：(阿部市郎記)

・サーツが事務局を委託されている木造住宅合理化システム普及協会の平成27年度総会を5月26日(火)14時より開催。「合理化システム普及協会長期性能タイプA型」の普及推進について論議した。
・国土交通省の平成27年度グリーン化事業(補助金事業)のグループ募集が発表された。

- 1) 長寿命型(長期優良住宅)
- 2) 高度省エネ型(認定低炭素住宅)
- 3) 高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)
- 4) 優良建築物型(認定低炭素建築物等一定の良質な建築物)の4タイプで全て環境と高度省エネルギー

ーを目指した方向性が顕著となっている。

・林野庁補助金事業CLT建築等新たな製品・技術を活用した建築物の実証事業の募集が発表された。

○次回部会予定:6月5日(金)18:00~

□ 集合住宅部会(小畑晴治記)

・一般社団法人マンション再生なびとのタイアップ事業,久米川駅東住宅(東京都住宅供給公社の分譲)の連続勉強会では,4月18日(土):第1回「維持改修による再生(概論)」の後,5月23日(土)に第2回「建物の耐震・耐久性を考える」を実施し,各回30数名の参加で好評を得た。次回26日には,志木NTでの中層エレベーター設置関連調査の概要報告と,住宅金融支援機構の制度などに着目した提案を行うことを検討中です。

・昨年度検討した,ローコスト版中層住宅用の階段昇降装置について,協力企業が試作機を開発中で,6月下旬には見学可能な状況になってきています。

○次回部会予定:7月23日(木)18:00~

□ マンション管理組合支援事業部(向野元昭記)

・5月27日,丸山,塚部,向野が川口PTマンションの修繕委員会にてコンサルタント業務仕様書(案)と概算見積もりの説明を行った。まだ受注に至るかは未定だが,今後の管理組合に対するPR活動の一環と考えている。

○次回部会予定:7月23日(木)16:00~18:00

□ 建築技術6月号サーツ欄掲載記事

・神谷文夫:根拠なき確信といわれながら,なお先の時代を見つめて

・小藤捷吾:大型木質構造建築設計WEBセミナー報告

□ 短信:口永良部島が噴火した。これで北の有珠山,中部の御嶽山を合わせ,日本列島全域で同時代の火山爆発を目の当たりにしたことになる。最近箱根の山が白煙を上げ始めた。日本列島大爆発を想定すべきだろうか。

□ 余滴:大山の万緑波となりて寄す 捷三郎